

柳津町森林利活用ビジョン策定

第一回検討委員会 議事録（概要版）

令和6（2024）年8月1日（木）10:00～12:00

場所：柳津町ふれあい館

【出席メンバー】

出席委員：山下詠子座長（東京農業大学地球環境科学部森林総合科学科 准教授）

木村憲一郎アドバイザー（富士大学経済学科 教授）

委員9名（町内林業事業者、観光関係者、商工関係者、県立会津農林高等学校生徒3名）

出席オブザーバー：高鷲淳一オブザーバー（林野庁関東森林管理局会津森林管理署森林技術指導員）

木村充オブザーバー（福島県会津農林事務所森林林業部 林業課長）

事務局：杉原満（柳津町役場地域課長）

田部遼介（柳津町役場地域課農林振興係副主査）

受託事業者：会津里山森林資源育成研究会 会長星比呂志・副会長齋藤洋一・事務局長岩淵良太

第一回検討会 次第 「答弁者」

1. 開 会 「司会 会津里山森林資源育成研究会・岩渕良太」 ※以後、所属は研究会と略称
2. 挨拶 「柳津町町長 小林功様」
3. 柳津町森林利活用ビジョン及び柳津町森林振興計画、森林整備計画について
「地域振興課農林振興係・田部」
4. 柳津町の森林・林業・木材産業の状況について
「研究会・星」
5. 議事 「司会：検討会座長 山下詠子様」
 - (1) 委員等の紹介 「研究会・星」
 - (2) ビジョンの構成及び検討の視点、スケジュール等について
「研究会・星」
 - (3) ビジョンを構成する具体的な項目につて
第一回の講演概要 「座長」
提案（ブレインストーミング方式）「各委員」
 - (4) 次回の検討事項及び次回以降に向けた課題について
「研究会・星」
 - (5) ビジョン作成に向けた助言及び情報提供
「アドバイザー、オブザーバー」
 - (6) その他
6. その他
 - (1) 先進地視察について 「研究会・星」
 - (2) その他
 - (3) 事務連絡

【配布資料】

【議事録】

2. 挨拶

柳津町副町長 矢部良一	柳津町に町長不在のため、副町長矢部良一から挨拶がありました。 以下挨拶内容 6次振興計画の中に「活力ある産業と賑わいと交流のあるまち作り」というのがあり、振興計画に基づき議論すること、農林業従事者の確保、治山治水の関係、素材生産等を進めていくこと。令和4年12月に策定したゼロカーボンシティーについても温室効果ガスの吸収減の機能という、多様な技能を発揮する森林関係等についても、重要視していく考えである。家庭学校地域と一体となって青少年育成に、森林を活用した取り組みも大切である。人口減少を緩やかにする役割として、産業の一つとして森林活用が重要と思われる。森林利活用ビジョン策定に向けて期待がある。
----------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3. 柳津町森林利活用ビジョン及び柳津振興計画、森林整備について

地域振興課 農林振興係 田部 遼介	田部より、柳津町森林利活用ビジョン及び柳津振興計画、森林整備について プロジェクトを利用して説明を受ける。 以下内容 始に振興計画と森林整備計画について情報共有し、振興計画では売れる林業推進、鳥獣被害防止、魅力ある景観形成という3点が森林利活用ビジョンに関係してくる。 まちひとしごと創生総合戦略的に、安心して働ける仕事環境、地球温暖化対策の見直し、間伐実施による森林活性化、売れる農林業と生産体制や販売ルート確保がある。 振興計画数値目標で、森林整備面積が令和元年度基準値で7年度目標が官民公共事業等民間合わせて70ヘクタールである。毎年公共事業で森林再生事業が20ヘクタールぐらいで、民間事業者で50ヘクタールを行うとなっている。森林整備計画、基本的には国や県の計画に沿って、伐採基準、造林等を定めている。この計画に沿って、森林整備をやると造林補助金やバイオマスチップに補助上乗せなど優遇措置を受けられる。森林利活用のあるべき姿、柳津町の50年後がどうなっているのかという理想的な部分と具体的な組織や政策といった2本立てのバランスの取れたビジョン策定に取り組みたい考えである。
-------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4. 柳津町の森林・林業・木材産業の状況（プロジェクトを利用して説明）

会津里山森林資源育成研究会： 星	柳津町の森林・林業・木材産業の状況についてプロジェクトを利用して説明。 以下内容 柳津町森林面積87%、県平均が約70%、国平均が60%で森林率が高い地域である。 柳津町は全体の1/4が国有林、3/4が私有林で占めており、そのうち共有林が2/3あります。共有林の活用が重要なポイントになる。天然林80%人工林20%で天然林が非常に多い。森林土壌、生育環境の優れた高い場所があるので成長の良い杉林も存在している。齢級別では10齢級（45年生）から14齢級（70年生）が多い。大径木になると、従来型の製材所であれば対応できるが、最近の木材生産工場では設備問題で取り扱いができない。スギ材の特徴として、赤芯黒芯字がある。一般的に赤いものが好まれて、黒いものはちょっと好まれない傾向があります。会津地方の黒芯が非常に多い。トビクサレと言われるもの、スギアカネトラカミキリ害虫（カミキリムシ幼虫）が、杉材の中を食い荒らし、製品としては使いにくいものしている。大径木、黒芯、トビクサレといった問題点があり、木材生産量はあるが、製材・生産としてはやや少ないという傾向にある。このあたりも議論したい考えである。野生鳥獣の問題です。野生鳥獣の餌となるクリ・カキがたくさんある。住民の安全安心の観点からもいろいろと考える必要がある。
---------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5.議事 【司会：検討委員会座長 山下詠子先生】	
(1) 委員会の紹介	構成メンバーの紹介とあいさつ
(2) ビジョンの構成及び検討の視点、スケジュール等について 研究会・星	<p>ビジョンの構成及び検討の視点、スケジュール等について説明。 はじめに企画報告書をもとに柳津町の森林状況の説明を行う。 以下の3点をビジョン策定に向けた柱とすることを提案。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、針葉樹・広葉樹とも伐期を迎え豊富な林業資源をどのように生かしていくのかということが重要である。伐採・販売・植林というように幅広く検討していくことが大事。 2、安心安全な森づくり・里づくりが必要である。野生害獣や土砂災害の問題、これらは経済的損失や生活脅かす状況です。これらの対策を検討することは重要である。 3、美しく豊かな森づくりで観光資源創出、健康増進をはかる森づくり。 森林景観を美しくすることで、只見線による観光や森林公園を活用した森林療法など多様な分野と連携をとっていくことが必要である。 <p>策定にあたり振興計画とも整合性があるようにし、町の方向性とズレていけない。して作るのが良いかと思えます。 先進研修を計画している。長野県箕輪町、ここは同じように森林活用ビジョンがあり、実際に伺うことで参考になると思えます。8月6.7日の実施予定。 もう一か所は、岩手県紫波町周辺。林業関係の取組が中心となりますが、木材チップバイオマスを利用した熱利用が参考になる事例がある。10月を予定。 全体のスケジュール。第1回目、8月、第2回9月、研修10月、第3回11月、第4回12月、ここで中間まとめを行い、第5回、第6回と進める。9月は森林害虫、11月森林療法12月はきのこの専門家を講師として招く予定です。</p> <p>委員からの質問 目黒委員：ビジョン案を作成には議論が大事だと思います。実際柳津町のビジョンを話し合うところがどのくらい取れるの。3月にビジョンを完成品させて納品するのか。次年度以降に実行していくのか。 事務局星：毎回2時間ぐらい行いたいと考えています。次回以降はその話し合いの時間をより多く取っていきます。また、3月に完成提出します。ビジョンを踏まえて柳津町で事業化計画を行っていただきます。 目黒委員：事前資料があると、短い時間の中で議論ができます。 事務局星：今回はでなかなか準備が進まなかったですが、今後はでき限りしていきたいなと思っています。</p>
(3) ビジョンの構成する具体出来な項目について	<p>各委員がブレインストーミング方式で意見発言し、それをファインドバックというスクリーン上のメモに記載していきました。 別紙、ファインドバックにて意見内容をご覧ください。</p>
(4) 次回の検討項目及び次回以降に向けた課題について	<p>事務局星：今回その資料と本日のブレインストーミングをまとめたものを送付いたします。今回は林業的な部分が多かったですが、次回は別の分野での意見もおねがいします。 50年後の未来の姿と、それに近づくにはどうしていったらいいかっていう2本立てでいくということになります。</p>

<p>(5) ビジョン作成に向けた助言及び情報提供</p>	<p>木村憲一アドバイザー： 杉の活用について、木材自給率は上昇傾向にあり、国産材を使うっていう気運は高まっている。土地の所有・共有林が多い問題や。黒芯・トビクサレの問題がありますが、それを柳津でどう実現していくか。今新潟港から中国への木材輸出が増加中、ターゲットとして目を向けても良いのではないのでしょうか。 この地域での木材市場について、常設は難しいが、仮設市場は検討できる。 将来担い手について。50年後を考えると、小学生中学生高校生に、種まきがとても大切だ。実施に林業アカデミーふくしま研修生に話を聞くと、小さい時の経験が参加のきっかけになっている。将来に繋げるために、子供たちに森の体験をし、地道な活動というのは大切な活動。他の分野との連携。赤べこ体験、農業体験、観光と連携し森に繋げる、柳津町パッケージができるといいのでは。経済の話ですが、現在日本でお金がダボついています。企業はどこに投資をするかっていうESD環境投資していて、環境に力を入れている団体、自治体企業そこにどんどん投資して行って、環境経済循環サイクルがほとんどですので、行政の支援や必要な民間の環境投資を考える。</p> <p>高鷲オブザーバー： 昨年会津美里町のようなビジョンを策定に参加していました。山形県白鷹町に公共木材工場があり、地元の木材を有効的に利用している。地域内で循環して、山元、山主に還元できる経済好調であった。会津美里町ビジョンでも将来的に生産工場をつくるというようにビジョンに取り入れた。 杉材の使用例として、宮城県図書館建設の際に杉を床に使用していた。スギは柔らかくて不安もありましたが、圧縮加工を施すことによって、強度や視覚的にも優良になりました。実施に体感してもらうことで、関心を持っていただける事例だと思います。</p> <p>木村オブザーバー： 林業アカデミー昨年度の卒業生のうち4名が、会津地方へ新たに就業。奥会津にも3名が就職をしている。奥会津の魅力っていうのはたくさんあり、実際に住んでも良いと選択している。そういった魅力もビジョンに取り入れても良いと感じました。 林業教育が会津地方は大変活発です。小中学校98校中92校が取り組んでいる。目黒委員も知育玩具や体験キットで活動されている。林業体験や木工体験などそこで就業の方に繋がるかなというふう感じております。</p>
<p>6.その他</p>	
<p>(1)先進地視察について</p>	<p>先進地視察について、長野県箕輪町への研修スケジュール等の説明と当日かかる費用についても説明</p>

以上